

令和 2年度 基本事業評価シート （令和元年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 01 調和の取れた市域の形成
基本事業 02 適切な規制と誘導
主管課： 都市計画課
関係課： 企画課、建設課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市内全域	意図（どのような状態にしたいのか） 地域地区で定めた規制などにより、適切な土地利用が行われるようにする。
--------------------------	---

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

土地利用や建築物についての規制を強化すべきと感じる市民の割合（％）都市計画課					
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
44.60	44.80	43.40	44.60		44.60
向上指針	下がると良い	（状況）前年度から1.4ポイント減少し、基準値よりも1.2ポイント減少しています。 （原因）地区計画区域の制定や高度地区を制定することにより、適正に規制されていると考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

建築物や敷地に関する規制を定める地区計画を市内15地区で定めており、適切な土地利用が行われております。引続き、建築指導・開発行為の適正運用による土地利用を図ります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価